

## 令和5年度美濃加茂市水道事業決算概要

### ① 業務実績について

令和5年度末における給水人口は、前年度と比較して107人(0.19%)増加し、給水件数は、前年度と比較して192件(1.04%)増加しました。

要因としては、住宅の新築などにより口径13mm(前年度比217件増)などの家庭用の給水件数が引き続き伸びていることなどが考えられます。

また普及率は99.35%となり、前年度と比較して0.13ポイント減少しました。

	令和5年度	令和4年度	比較増減	増減率(%)
行政区域内人口(人) ①	57,357	57,173	184	0.32
給水人口(人) ②	56,985	56,878	107	0.19
給水件数(件)	18,675	18,483	192	1.04
普及率(%) ②/①	99.35	99.48	△ 0.13	—

次に、年間配水量は、41,459m<sup>3</sup>(0.63%)減少、年間有収水量は、15,406m<sup>3</sup>(0.26%)増加しました。

また、有収率は、90.09%となり、前年度と比較して0.8ポイント増加しました。

	令和5年度	令和4年度	比較増減	増減率(%)
年間配水量(m <sup>3</sup> ) ①	6,564,428	6,605,887	△ 41,459	△ 0.63
年間有収水量(m <sup>3</sup> ) ②	5,913,850	5,898,444	15,406	0.26
有収率(%) ②/①	90.09	89.29	0.80	—

### ② 予算執行状況について(税込み)(※予算額と比較するため、税込み表示をしています。)

#### ア. 収益的収支(3条)

収益的収入は、予算に対し97.57%の収入率で、40,703,007円の減収となりました。

収益的支出は、予算に対し87.75%の執行率で、204,878,598円の不用額が生じました。

なお、納付消費税及び地方消費税額は、13,195,500円となりました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
水道事業収益	1,677,204,000	1,636,500,993	△ 40,703,007	97.57
営業収益	1,161,602,000	1,146,230,185	△ 15,371,815	98.68
営業外収益	515,602,000	490,270,808	△ 25,331,192	95.09

	予算額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率(%)
水道事業費用	1,672,290,000	1,467,411,402	0	204,878,598	87.75
営業費用	1,619,694,000	1,442,617,229	0	177,076,771	89.07
営業外費用	47,576,000	24,794,173	0	22,781,827	52.11
特別損失	20,000	0	0	20,000	0.00
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.00

#### イ. 資本的収支(4条)

資本的収入は、予算に対し76.44%の収入率となり、67,016,447円の減収となりました。この原因は、主に負担金及び補助金の減収によるものです。

資本的支出は、予算に対し78.16%の執行率となり、翌年度繰越額114,860,000円を除く86,488,117円の不用額が生じました。この内訳は、建設改良費86,483,467円、企業債償還金4,650円です。

配水設備拡張費の執行額は、47,340,819円(令和4年度からの繰越事業を含む)で、主なものは、配水補助管布設工事(加茂野町木野工区)、配水管布設工事(加茂野町今泉第2工区、牧野工区、蜂屋町中蜂屋工区)です。

配水設備改良費の執行額は、366,872,194円で、主なものは、配水管布設工事(上野幹線第1工区)、配水管布設替工事(山手幹線第4工区、牧野工区)、舗装復旧工事(引田94号線外5路線、山手線外2路線)です。

また、建設改良費の繰越として配水管布設工事(上野幹線第2工区)等3件114,860,000円を翌年度へ繰越しました。

企業債償還金90,145,350円は、地方公共団体金融機構の24件と政府資金(財政融資資金)の17件の元金の償還金です。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額503,207,423円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 15,758,017円、減債積立金90,145,350円及び過年度分損益勘定留保資金397,304,056円で補てんしました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
資本的収入	284,408,907	217,392,460	△ 67,016,447	76.44
負担金	99,345,907	53,034,460	△ 46,311,447	53.38
分担金	96,063,000	105,358,000	9,295,000	109.68
補助金	89,000,000	59,000,000	△ 30,000,000	66.29

	予算額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率(%)
資本的支出	921,948,000	720,599,883	114,860,000	86,488,117	78.16
建設改良費	616,798,000	415,454,533	114,860,000	86,483,467	67.36
企業債償還金	90,150,000	90,145,350	0	4,650	99.99
長期貸付金	215,000,000	215,000,000	0	0	100.00

③ 経営成績について(税抜き)(※経営成績を正しく表示するため、税抜き表示をしています。)

令和5年度の損益は、総収益1,532,462,624円に対し、総費用1,379,882,913円で、差し引き

152,579,711円の純利益となりました。

#### ア. 収益比較

水道事業収益は、1,532,462,624円で前年度と比較すると46,475,018円(3.13%)の増収となりました。

営業収益は、1,042,230,467円、総収益の68.01%を占めており、科目別に前年度と比較すると、給水収益175,776,300円(14.87%)減、受託工事収益2,574,000円(103.77%)増、その他営業収益8,664,315円(39.34%)増で、全体では164,537,985円(13.63%)の減収となりました。

営業外収益は、490,232,157円で、科目別に前年度と比較すると、受取利息及び配当金555,749円(34.03%)増、他会計補助金208,071,376円(皆増)増、長期前受金戻入益6,746,525円(2.48%)増、雑収益4,212,647円(83.81%)減で、全体では211,013,003円(75.57%)の増収となりました。

科目	令和5年度(円)	令和4年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業収益	1,532,462,624	1,485,987,606	46,475,018	3.13
営業収益	1,042,230,467	1,206,768,452	△ 164,537,985	△ 13.63
給水収益	1,006,488,060	1,182,264,360	△ 175,776,300	△ 14.87
受託工事収益	5,054,546	2,480,546	2,574,000	103.77
その他営業収益	30,687,861	22,023,546	8,664,315	39.34
営業外収益	490,232,157	279,219,154	211,013,003	75.57
受取利息及び配当金	2,188,767	1,633,018	555,749	34.03
他会計補助金	208,071,376	0	208,071,376	皆増
他会計負担金	892,000	1,040,000	△ 148,000	△ 14.23
長期前受金戻入益	278,266,234	271,519,709	6,746,525	2.48
雑収益	813,780	5,026,427	△ 4,212,647	△ 83.81

## イ. 費用比較

水道事業費用は、1,379,882,913円で前年度と比較して117,854,216円(7.87%)の減少となりました。

営業費用は、1,367,898,643円で総費用の99.13%を占めており、前年度と比較して、増加した科目は、受託工事費2,574,000円(103.77%)、総係費18,571,860円(17.79%)、減価償却費5,337,637円(1.02%)です。

一方、減少した科目は、原水及び浄水費85,668,987円(12.85%)、配水及び給水費20,213,290円(14.6%)、資産減耗費32,460,676円(74.85%)です。

結果、営業費用全体としては、111,859,456円(7.56%)の減少となりました。

営業外費用は、11,984,270円で総費用の0.87%を占めており、前年度と比較すると、支払利息及び企業債取扱諸費で2,275,149円(17.11%)減、雑支出で3,719,611円(79.45%)減、営業外費用全体では5,994,760円(33.34%)の減少となりました。

なお、今年度は特別損失の計上はありませんでした。

科目	令和5年度(円)	令和4年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業費用	1,379,882,913	1,497,737,129	△ 117,854,216	△ 7.87
営業費用	1,367,898,643	1,479,758,099	△ 111,859,456	△ 7.56
原水及び浄水費	580,765,795	666,434,782	△ 85,668,987	△ 12.85
配水及び給水費	118,220,665	138,433,955	△ 20,213,290	△ 14.60
受託工事費	5,054,546	2,480,546	2,574,000	103.77
総係費	122,967,802	104,395,942	18,571,860	17.79
減価償却費	529,983,622	524,645,985	5,337,637	1.02
資産減耗費	10,906,213	43,366,889	△ 32,460,676	△ 74.85
営業外費用	11,984,270	17,979,030	△ 5,994,760	△ 33.34
支払利息及び企業債取扱諸費	11,021,944	13,297,093	△ 2,275,149	△ 17.11
雑支出	962,326	4,681,937	△ 3,719,611	△ 79.45
特別損失	0	0	0	—
災害による損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—

#### ウ. 単位当たり収益費用の比較

令和5年度の有収水量1m<sup>3</sup>当たりの収益、費用を前年度と比較すると次の表のとおりです。

有収水量1m<sup>3</sup>当たりのコストを費用別に前年度と比較すると、減少した項目及び金額は、原水及び浄水費14.78円、配水及び給水費3.48円、資産減耗費5.51円、支払利息及び企業債取扱諸費0.39円、雑支出0.63円です。

一方、増加した項目及び金額は、総係費3.09円、減価償却費0.67円です。

(単位:円/m<sup>3</sup>)

区分	収益		区分	費用	
	令和5年度	令和4年度		令和5年度	令和4年度
給水収益※ (供給単価)	170.19	200.44	原水及び浄水費	98.20	112.98
			配水及び給水費	19.99	23.47
その他営業収益	5.19	3.73	総係費	20.79	17.70
受取利息配当金	0.37	0.28	減価償却費	89.62	88.95
他会計補助金	35.18	0.00	資産減耗費	1.84	7.35
他会計負担金	0.15	0.18	その他営業費用	0.00	0.00
長期前受金戻入益	47.05	46.03	支払利息及び企業債取扱諸費	1.87	2.26
雑収益	0.14	0.85	雑支出	0.16	0.79
小計	258.27	251.51	小計	232.47	253.50
受託工事収益	0.85	0.42	△長期前受金戻入益	△ 47.05	△ 46.03
合計	259.12	251.93	合計(給水原価)	185.42	207.47

#### エ. 人件費(職員給与費)

令和5年度の損益勘定職員給与費は、63,762,077円で、総費用に占める割合は、4.62%となっています。

職員給与費の給水収益に対する割合は6.34%で、前年度と比較して1.51ポイント高くなりました。職員1人当たり有収水量及び営業収益は、水道事業における労働生産性をもつとも端的に表すものといわれており、いずれの数値も令和4年度経営指標の約1.4倍以上となっています。

区分	令和5年度	令和4年度	比較増減	令和4指標
損益勘定職員(人)	10	10	0	—
損益勘定職員給与費(円)	63,762,077	57,139,317	6,622,760	—
職員1人当たり有収水量 (m <sup>3</sup> )	591,385	589,844	1,541	417,877
職員1人当たり営業収益 (千円)	103,718	120,429	△ 16,711	74,203
職員1人当たり給水人口 (人)	5,699	5,688	11	3,797

※職員及び職員給与費については、会計年度任用職員人数及び会計年度任用職員給与費を含む。

令和5年度10人(うち会計年度任用職員3人)、令和4年度10人(うち会計年度任用職員3人)

#### 才. 水道料金の収入状況(税込み)

令和5年度の水道料金収入状況は、次表のとおりです。

当年度分の収納率は、90.58%となり前年度と比較して1.55ポイント減少、過年度分の収納率は、95.28%で前年度と比較して0.04ポイント減少しました。

また、口座振替による入金は、月末振替翌月収納となるため、3月分の口座振替額(84,387,026円)を収入済みとみなすと、実質的には当年度分の収納率は、98.21%となり、前年度と比較して0.21ポイント減少しました。

区分		令和5年度	令和4年度	増減額(円)	増減比(%)
当年度分	調定額(円)	1,107,093,415	1,300,447,454	△ 193,354,039	△ 14.87
	収入済額(円)	1,002,847,073	1,198,094,841	△ 195,247,768	△ 16.30
	収納率(%)	90.58	92.13	—	—
過年度分	調定額(円)	106,975,429	106,409,790	565,639	0.53
	収入済額(円)	101,921,995	101,429,254	492,741	0.49
	不納欠損	0	0	0	—
	収納率(%)	95.28	95.32	—	—

#### カ. 経営分析比率

収益性を示す総収支比率は111.06%で前年度と比較して11.84ポイントの増加、単年度黒字の目安となる経常収支比率は111.06%で前年度と比較して11.84ポイントの増加、上水道固有の事業に関わる営業収支比率は76.1%で前年度と比較して5.42ポイントの減少となりました。

(単位: %)

区分	算式	令和5年度	令和4年度	令和4指標
総収支比率	総収益/ 総費用 × 100	111.06	99.22	109.22
経常収支比率	経常収益/ 経常費用 × 100	111.06	99.22	109.09
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	76.1	81.52	94.87

#### ④ 財政状態について

最近2年間の貸借対照表は、④-1表のとおりです。

資産合計は、前年度と比較して23,085,047円減少しました。

その内訳は、固定資産は77,097,932円増加し、流動資産は100,182,979円減少しました。

また、負債・資本の合計も23,085,047円減少しました。

その内訳は、固定負債が83,397,478円減少、流動負債が34,817,757円減少、繰延収益が57,449,523円減少、資本金が99,747,109円増加、剰余金が52,832,602円増加しました。

④-1表

	令和5年度(円) (A)	令和4年度(円) (B)	比較増減(円) (A)-(B)	前年度比(%) (A)/(B)	構成比率(%)	
					令和5年度	令和4年度
固定資産	12,708,917,515	12,631,819,583	77,097,932	100.61	86.16	85.50
流動資産	2,041,376,300	2,141,559,279	△ 100,182,979	95.32	13.84	14.50
資産合計	14,750,293,815	14,773,378,862	△ 23,085,047	99.84	100.00	100.00
固定負債	506,563,221	589,960,699	△ 83,397,478	85.86	3.44	4.00
流動負債	302,426,497	337,244,254	△ 34,817,757	89.68	2.05	2.28
繰延収益	5,889,754,055	5,947,203,578	△ 57,449,523	99.03	39.93	40.26
資本金	6,871,249,458	6,771,502,349	99,747,109	101.47	46.58	45.83
剰余金	1,180,300,584	1,127,467,982	52,832,602	104.69	8.00	7.63
負債資本合計	14,750,293,815	14,773,378,862	△ 23,085,047	99.84	100.00	100.00

④-2表は、財務状態を示す指標です。

事業の安全性を見る視点として、自己資本構成比率については90%を超える、財務状況は安定しています。固定比率については100%を下回っており、流動比率(適正な比率は、200%以上)は、675%です。財務状況は安全かつ安定的な経営状態となっているといえます。

④-2表

区分	算式	令和5年度	令和4年度	令和4指標
固定資産構成比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	86.16	85.50	86.36
固定負債構成比率(%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{固定負債} + \text{負債資本合計}} \times 100$	3.43	3.99	23.21
自己資本構成比率(%)	$\frac{\text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	94.52	93.72	72.98
固定資産対長期資本比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	87.96	87.50	89.79
固定比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	91.16	91.23	118.35
流動比率(%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	675.00	635.02	357.74

以上が令和5年度の事業概況であります。

今年度は主に他会計補助金の増加により、水道事業収益が増収する一方で修繕費や委託料、動力費などの費用を削減したことにより水道事業費用が減少し経常収支が大幅に改善されました。

「美濃加茂市新水道ビジョン」の基本理念である「生活を支える、安全で強い水道を次世代に」の実現に向け、「安全」、「強靭」、「持続」の3つの観点から、気象・災害及び危機管理リスクを踏まえた対策の実施や、人口減少などの社会環境の変化を見通した事業運営の効率化や、計画的な施設の更新を図り、引き続き、安定給水能力の向上に努めてまいります。